

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 小中一貫校前芝学校 豊橋市立前芝中学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-0152

愛知県豊橋市前芝町字塩見1番地

E-mail maeshiba-j@toyohashi.ed.jp

Website http://www.maeshiba-j.toyohashi.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 64 名 女子 54 名 合計 108 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

・農業体験学習(年間)

野菜作りを通して自然や命を育むことの大切さを体験した。また、食育を学ぶきっかけとした。

・合唱コンクール・ミニコンサート(11月2日、その前後の合唱指導)

ミニコンサートでは、大竹広治氏、鈴木雅子氏の2名をお招きして、プロのヴァイオリニストとピアニストの演奏を楽しむ機会とした。

また、小学校5・6年生を招いて合唱を披露し、自己肯定感を育む場ともしている。

・平和学習(7月31日)

戦争経験者2名を講師に招き、イラストなどを活用しながら、豊川海軍工廠での空襲の様子を、1年生に向けてお話しいただいた。平和の大切さを改めて学ぶことができた。

・百人一首大会(1月9日、練習は12月から)

日本の伝統文化である笙や龍笛の演奏を聴き、伝統的な楽器や音楽にふれる機会とした。また、百人一首の練習を通して、美しい日本語や古典に親しむことができた。

・校区・保小中合同防災訓練（9月3日）

海拔1mの海辺に位置する本校区で、校区と保育園、小学校、中学校が合同で防災訓練を行った。自宅から高台へ避難した後に登校し、実際に被災したときには、中学生が中心となって活動できるように、学年ごとに役割を分担した。3年生は、防災クイズ、エコノミークラス症候群対処法、消火器、バケツリレーなど、さまざまな体験ブースの企画運営をし、小学生や地域の参加者に合わせた説明をすることができた。2年生は、小学生を引率し、災害時に静かに行動することの大切さを知ることができた。1年生は、炊き出しをみんなに配布して、避難時の食料の重要性を知ることができた。中学生がそれぞれのグループでチームリーダーとなることにより、大変大きな成果を得ることができた。

また、本年度は、豊橋市合同防災訓練のサテライト会場として指定を受けたため、関係諸機関の参加や業者のブース体験も多かった。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2, 2-1に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CD（合唱練習、百人一首練習）</li> <li>・ 書籍（平和学習、百人一首暗唱、防災訓練準備）</li> <li>・ ウェブサイト（防災訓練学習、防災訓練準備）</li> </ul>
--

【校区・保小中合同防災訓練について】

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>7月・8月 準備【10時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育園との連携…中学校屋上への避難の下見・練習</li> <li>○ 小学校との連携…防災訓練に向けての班分け 地震・津波の被害の調べ学習 中学生への質問の準備</li> <li>○ 校区との連携……当日朝の高台避難について 自治会長と打ち合わせ、意見交換</li> <li>○ 他団体との連携…保健所、保健師、医師による出前授業の実施 (エコノミークラス症候群への対応)</li> <li>○ 中学校単体で行う準備…避難ブースの準備（3年生） 小学生引率班編成（2年生） 炊き出し配布班編成（1年生）</li> </ul> <p>9月 校区・保小中合同防災訓練【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 居住地域の高台への避難</li> <li>○ 避難ブースの運営</li> <li>○ 小学生の引率</li> <li>○ 炊き出しの手伝い</li> </ul> <p>9月～10月 振り返り・来年度への引き継ぎ【6時間】</p>
---

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

中学校での防災訓練だけでなく、保育園、小学校に加え、地域住民とも連携を取りながら、防災訓練を行うことによって、中学校全体として、また、各学年としてどのように取り組めばよいか、明確にすることができた。この方法で合同防災訓練を行うと、情報交換が不十分になることが多いが、振り返りで改善点を確認しながら、翌年の訓練へと引き継いでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項1-5に対応

- ・「愛知県ユネスコスクール交流会」での発表(10月29日)
- ・「ユネスコスクール豊橋大会」での発表(11月25日)
- ・「学校評議員会」での報告と、評議員からの評価

学校評議員会で、本年度の活動の様子を、校区・保小中合同防災訓練を中心に発表した。評議員の方からは、生徒の活躍を称賛していただいた。来年度以降も、継続していきたい。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項2-2に対応

校区・保小中合同防災訓練の様子は、「前芝中学校通信(校長室だより)」や「前芝すこやか新聞(健全育成会だより)」で、校区や家庭に情報発信し、中学校だけでなく、保育園や小学校の活動の様子も随時知らせることができた。

また、夏休みには、校区を大きな竜巻が襲い、被害の出た家庭があった。本校からは、自主参加の生徒やハンドボール部がボランティア活動を行い、破損したガラスや瓦等の瓦礫集めをしたり、家屋が壊れた家庭の引っ越しの手伝いをしたりすることができ、新聞にも掲載された。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項2-3に対応

10月29日(土)に、東海市芸術劇場で行われた「愛知県ユネスコスクール交流会」に、「ユネスコスクール活動発表」の代表として、3年生2名が参加した。また、11月25日(土)に、愛知大学豊橋校舎で行われた「ユネスコスクール豊橋大会」に、「ポスターセッション発表校」として、2年生2名が代表として参加した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）  
※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールとして、特に他校と交流することはなかった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

「ユネスコスクール活動発表」の代表として3年生2名が参加した「愛知県ユネスコスクール交流会」では、当日暴風警報が出たため、残念ながら発表をすることなく帰ってきたが、準備を入念に行っていたので、代表者の防災に関する意識や発表に対する意欲が大いに高まった。卒業後も、地元の安全を守っていこうという気持ちがとても強くなった。

また、「ポスターセッション発表校」として2年生2名が参加した「ユネスコスクール豊橋大会」では、当日、前芝小の代表2名と合同で発表を行い、来年度のブース運営に向けて、防災の意識を大いに高めることができた。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も、本年度に引き続き、「農業体験学習」「平和学習」「合唱コンクール・ミニコンサート」「百人一首大会」を実施し、「未来像を予測して計画を立てる力」「コミュニケーションを行う力」「つながりを尊重する態度」「他者と協力する態度」を育てていきたいと思う。

また、本校のESD活動の中心となっている「校区・保小中合同防災訓練」を今後も継続し、災害にあったときには、中学生が、校区や家庭の中心となって働くことで、少しでも被害をくい止めるとともに、より早い復興を目ざして活動できるようにしたい。